

職員による自己評価

A環境面

教室は清潔に明るく保たれている。
コロナ感染予防のため、机にデスクガードを設置し、室内には除菌装置を設置している。

B児童への支援内容

くもんのどのプリントをどのように支援するか、毎日のミーティングで指導員が話し合い、各生徒のレベルに応じて適切な指導をし、自己肯定感を育てている。

C関係機関との連携

今年はコロナで部会がなかったが、例年は各部会に出席し、他事業所の担当者との情報交換を心がけている。

D保護者への説明責任・信頼関係

送迎サービスはないので、通所日にその日の療育内容について、保護者にきめ細かく報告し、必要に応じて適切な助言や支援をしている。

E非常対応

入所時にアレルギーや持病について確認している。
春と秋に防災訓練をしている。

保護者による評価

A環境面

子どもの学習スペースが適切に確保され、教室のデザインも明るく快適である。

机もソーシャルディスタンスを保つように配置されている。

B児童への支援内容

生徒ひとりひとりのレベルに合わせて、きめ細かく丁寧に指導してもらい満足している。

その日の子どもの状況（体調・精神面）に応じて柔軟にきめ細かく対応してもらっている。

C事業所からの情報発信

ホームページや毎月発信される「あさがお通信」から情報を得ている。

D非常対応

目の前の小学校が指定避難場所のため避難しやすく、定期的に防災訓練をして子供の非常時への対応力を育成してくれている。

事業所内での分析

【共通点】

支援内容については概ね、保護者からご満足をいただけている。
楽しみに通所してくる生徒の方が多いが、学習支援なので毎回楽しみというわけにはいかないところがある。
その子の能力に応じて基礎から無理なく、生徒に合わせて療育を進め、学習効果を上げている。その結果、保護者の方から、ご満足をいただけている。

【相違点】

保護者の方からは、送迎サービスの希望がある。
預かりではないので、長時間の教室滞在は学習効果を下げる事を保護者にご理解いただくこと。

分析・検討してみて…

事業所の強み

公文教育研究会より、正式な指導施設としてサポートを受け、公文式学習で学習支援をしている。
その結果、子どもたちは集中力とともに処理能力も高くなり、学習力も向上している。それにより、自己肯定感も高まり、自信をつけている。
毎回の送迎の際、その日の学習状況を保護者に報告し、子どもの療育に活かしている。

事業所の改善点

ひとりで通所している生徒の場合、保護者との連絡を密にし情報を共有して、今後の療育に活かして行きたい。
職員の研修を通して、指導力の向上を引続き目指して行く。

事業所の改善への取り組み

各指導員の資質向上のため、今まで以上に様々なテーマの研修に積極的に参加する。
引続き、保護者との連絡を密にし情報共有に努め、日々の療育に活かして行きたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

療育内容については、多くの保護者から信頼とご満足をいただき、私たち指導員も子どもたちの成長を実感することができました。これからも、この結果に満足することなく、職員一同、情報共有し、子どもたちの療育に邁進していきます。